

MARI INOUE

井上真理
いのうえまり

<https://mari-inoue.com>

2003年に、朝日町で初めての女性議員として初当選。皆さんの温かいご支援のおかげで、3期にわたり町政に関わらせていただきました。2023年の町議会議員選挙で、再び皆さんに背中を押していただき、議会へ戻ることができました。これまでの経験を生かしながら、一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、笑顔のあふれる町づくりに取り組んでいます。



議会一般質問

一般質問です。

- STEAM教育
- 公民館開催の教室
- クマによる被害への備え
- 町政運営の基本姿勢

詳細は裏面をご参照ください。

朝日町議会議員 井上真理です。
「ここに住んでよかった」と心から思える町であり続けてほしいと願っています。

これからの朝日町には、少子高齢化や災害への備え、地域コミュニティの変化など、さまざまな課題が待ち受けています。でも私は、それを「課題」ではなく「次の可能性」だと思っています。町の規模が小さいからこそ、住む人どうしの距離が近く、声が届きやすい。そこに、朝日町の強みがあると感じています。朝日町は、三重県でいちばん小さな町ですが、その分、顔の見える関係や助け合いの気持ちが息づく、あたたかい町だと思っています。私はこの町が、子どもから高齢の方まで、「ここに住んでよかった」と心から思える町であり続けてほしいと願っています。そのため大切にしているのは、ひとりひとりの声を丁寧に聴くこと。そして、小さな気づきや困りごとを、少しずつ形にしていくことです。

井上真理の3つの公約

1

子育てができる環境づくり

少子化が進む中で、子育てしやすい町をつくることはとても大切です。保育園や放課後児童クラブの充実、子育て相談の体制など、子育て世代の皆さんが安心して暮らせるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。

2

地域福祉

見守りの仕組みや支援の輪を広げ、ちょっとした声かけや助け合いが自然にできるような地域づくりを目指します。高齢の方々の経験や知恵が、次の世代にも受け継がれていく、そんな温かい町をつくっていきます。

3

未来を守る分野

災害に強く、子どもたちが安心して学べる環境を整え、将来の世代に負担を残さないまちづくりを進めていきます。小さな町だからこそできる工夫を重ねながら、次の世代へ誇れる朝日町をつくっていきたいと思います。

井上真理の議会での一般質問

STEAM教育を通じた人間力の構築と地域特性の活用について

STEAM教育について	井上の質問	教育長が掲げる「人間力の構築」においてSTEAM教育はどのような役割を担うのか。
	教育長の回答	「創造性教育」を重視したSTEAM教育は、指示待ちの傾向が強い当町子どもたちにとって、複雑化する社会課題に対応するために必要な人間力を育てる次世代の教育アプローチだととらえています。
地域連携型の具 体例や構想	井上の質問	地域連携型のSTEAMプログラムの具体例や構想があるか。
	教育長の回答	地域人材を講師として招聘する取組は行っております。先生がSTEAM教育の全てを行うのではなく、子どもの知的欲求を満たすために外部講師や教材教具を活用する授業体制が実際行われるようになることが理想です。
研修・支援体制	井上の質問	教員への研修・支援体制は。
	教育長の回答	優先すべくは先生方と子どもたちにとって使いやすい教材教具やカリキュラム等の構築が必要だと考えています。

STEAM教育は、科学・技術・工学・芸術・数学を横断的に学び、子どもたちの「考える力」「創造力」「表現力」を育てる教育です。実験やものづくりを通して、未来を生き抜く力を身につけます。

公民館開催の教室について

決定基準	井上の質問	公民館教室の決定基準や住民ニーズの反映については
	教育長の回答	講師の登録制度や住民からの推薦を受け、ジャンルや経験を考慮して選定し、開講しています。未開講の判断は、受講希望が定員の半数に満たない場合としています。
住民ニーズ	井上の質問	住民ニーズの把握はどのように。
	教育長の回答	アンケートや短期教室を実施し、その結果を翌年度以降の定期教室に反映しています。
若者参加	井上の質問	若者参加の促進策は。
	教育長の回答	編み物教室を企画し小中高生を含む幅広い参加がありました。今後は中学生以上が参加可能な料理教室も予定しています。

頻発するクマによる被害への備えと町の対応について

目撃情報	井上の質問	今年度近隣市町での目撃情報は。
	町長の回答	11月21日にいなべ市の藤原岳でクマの目撃情報があり、出没が確認され警察と市が住民や登山者へ注意喚起の啓発を実施しています。
初動対応	井上の質問	万が一町内で出没が確認された場合、どのような初動対応を想定しているか。
	町長の回答	町民により出没情報があった場合、県や警察署へ情報提供し、学校や自治会など関係機関と情報を共有し、Sアラート・町ホームページ・町公式LINEにより町民への情報発信を行います。
周知・訓練	井上の質問	防災・防犯の一環として町職員や地域防犯組織への周知・訓練を行う考えは。
	町長の回答	防災・防犯の一環としての周知・訓練は考えていませんが、今後、連絡体制及び初動対応の整備で、必要な対策等を講じていきます。引き続き三重県ツキノワグマ出没等対応マニュアルに沿った対応に努めていきます。

任期最終年における町政運営の基本姿勢について

最も重要と考 えている課題	井上の質問	現時点で町政運営上最も重要と考えている課題は。
	町長の回答	令和6年度から令和10年度までの5か年計画で取り組んでいる「財政改革推進プラン」を確実に実行、持続可能な行政運営を推進することと考えます。
庁舎整備	井上の質問	庁舎整備や将来世代への負担に関わる施策についての考えは。
	町長の回答	庁舎整備については「基本計画」から「基本設計」ステージに進むべきところですが、人件費だけでなく諸資材費の高騰による所要予算の大幅変動が予想されること、さらに「財政改革推進プラン」に取り組んでいることを勘案し、次のステージへの取り組みは「一旦休止」とさせていただきます。
本町の将来像	井上の質問	本町の将来像をどのように描いているか。
	町長の回答	「みんなで創る あかるい未来 ささえ合い ひとみ輝く 朝日町」と掲げ、町民、地域、行政が一体となった、持続可能なまちづくりを推進していきます。